

## 令和8年第1回(2月)瀬戸内市議会定例会

### 行政報告

本日は、令和8年第1回(2月)瀬戸内市議会定例会を招集しましたところ、ご多用の中ご出席をいただき、誠にありがとうございます。

この度、最初にご報告したいことは、JR赤穂線の増便についてです。去る1月29日に、JR西日本による記者会見にて発表されましたとおり、3月14日から、JR赤穂線の増便が決定しました。

昨年6月に市長に就任して以来、「人が集い、手取りが増えるまちづくり」の実現に向けた重要なテーマの一つとして、「公共交通の充実」を掲げ、様々な取組を進めてきました。

まずは、市営バスの拡充検討に取り組み、虫明・長島愛生園線の増便や、牛窓-邑久駅線の延伸、西脇-邑久駅線のバス停増設などの計画検討に取り組んできました。

これらの、鉄道駅へとつながる市営バスの利便性向上が、鉄道利用の促進にもつながることに加え、長船駅前駐車場の拡大や3月に備前長船刀剣博物館で開催予定の山鳥毛公開に合わせた長船駅からのシャトルバス運行開始など、鉄道利用を促進する取組を積極的に進めてきました。

その成果を基にJR西日本と粘り強く交渉を重ねた結果、今回のJR赤穂線

の増便を実現することができました。

皆さまのご支援とご理解に心から感謝を申し上げます。

今回の増便に満足せず、来年のダイヤ改正に向け、更なる増便を獲得するために、令和8年度予算案にも公共交通の一層の充実、需要増加に向けた取組を盛り込んでいます。具体的には、計画してきた市営バスの増便・延伸等に加え、観光定期バスの運行開始や、市営バスにおけるICOCAの導入、観光プロモーションの強化などを迅速に進めていく計画としています。

令和8年度予算では、「人が集い、手取りが増えるまちづくり」をコンセプトに掲げ、定住の推進、移住・観光の誘致、手取りアップに向けた施策を組み込みました。定住を推進するための核として、先に述べた公共交通の整備、移住の誘致に向けては現在移住者の柱となっている就労世代・子育て世代を想定し、企業誘致を推進するための調査費用、子どもの遊び場整備に向けた費用、小中学校の給食費無償化や保育料の無償化、学校外教育バウチャー導入に向けた予算、観光誘致に向けて、観光定期バスの新設や道の駅黒井山グリーンパークへの軽食施設の整備、美術館博物館での特別展プロモーション強化などを計画しています。また、企業誘致以外の手取りアップに向けた取り組みとして、ふるさと納税の寄附額増加のための取組や広報プロモーションによる情報発信の強化に向けた費用を計上しています。

また、市役所職員の手取りも引き上げることを想定し、副業の解禁も計画し

ています。

これらの施策を通じ、若者、高齢者、障がいがある方を含め、全ての市民が「住みたい」、「住み続けたい」と感じていただき、手取りが増えるまちづくりをしっかりと形にしていきたいと考えています。

是非とも、前向きにご審議いただければ幸いです。

それでは、主な取組についてご報告させていただきます。

#### ○ 令和8年度当初予算について

新年度の一般会計予算の総額は、約263億2,000万円と前年度の当初予算を約13億3,000万円上回るものとなっています。

新年度当初予算は、「人が集い、手取りが増えるまちづくり」を形にするため、企業誘致、公共交通の充実、保育料の無償化、民間認定こども園の施設整備に対する助成、中学校体育館の空調設備の整備をはじめ、ふるさと納税の寄附額増加のための取組や広報プロモーション戦略による情報発信の強化、地域おこし協力隊の増員などの取組に加え、物価高騰対策として水道料金の基本料金減免などの事業費を計上しつつ、給与改定による人件費や物価高による管理経費、障害福祉サービス費などの社会保障費の増加などの要因により過去最大の予算規模となっています。

歳入では、普通交付税は、公債費償還額の変動、基準財政収入額の見込み

などから、約3億1,000万円の増額を見込んでいます。

また、市税は、賃金の上昇などから個人市民税が増額となる一方、経済状況の見通しなどにより法人市民税や固定資産税の減収が見込まれることから市税全体では約5,000万円の減額を見込んでいます。

その結果、交付税算入のある有利な市債や応援基金などを有効に活用してもなお不足する9億8,000万円を財政調整基金からの繰入れを予定していますが、当初予算編成後の財政調整基金の残高は、前年度見込みと比較して3.4%(9,584万円)増の29億4,036万円となる見込みです。

その他、会計別予算総額や前年度当初予算との比較につきましては、議案と一緒に配布しています「当初予算概要説明資料」をご参照ください。

#### ○ 出産・子育て応援給付事業の新設について

物価高騰の影響を受ける子育て世帯に対し、出産時の経済的な負担を軽減し、安心して子育てができる環境を整えるため、妊娠期と出産期に5万円ずつ給付される妊婦のための支援給付金とは別に、新生児一人につき10万円の出産祝金を支給します。

#### ○ 保育料無償化の新設について

市では、仕事と子育てを両立する家庭への更なる経済的な支援を図るため、

保育料を無償化します。ただし、0歳から2歳児までの住民税課税世帯で、第1子の児童のみ保育料をご負担いただくこととします。

今回の制度新設により、認可施設に通う第2子の保育料が無償となります。

#### ○ 小中学校給食費無償化の実施について

令和8年度の小中学校の学校給食費の保護者負担については、給食費負担軽減交付金や物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金、ふるさと納税を財源とする応援基金等を活用することで無償とします。

#### ○ 遊び環境整備助成制度の新設について

炎天下や雨天時にも子どもたちが遊べる環境などを市内に整備するため、事業者が所有する遊休地や空き店舗等に、子どもを中心に人が集う遊び場を整備する場合の補助金交付を始めます。

この制度をきっかけとして、官民連携による遊び場整備を進めていきます。

#### ○ 認定こども園施設整備の助成について

旧長船町公民館跡地に誘致した、令和9年4月開園予定の民間認定こども園の設置・運営者が、現在、施設整備の準備を進めています。今年度に続き、事業者に対して補助金を交付します。

○ 学校外教育バウチャー給付事業の新設について

本市は、全国学力テストにおいて中学校3年生の学力が県内1位となるなど、教育水準の高いまちです。この魅力をさらに高めるとともに、家庭の経済状況や個々の特性にかかわらず、すべての子どもたちが多様な学びの機会に包摂される社会を実現するため、中学生を対象として、学習塾やオンライン学習、スポーツ・文化・芸術などの習い事、フリースクールなどに利用可能な「学校外教育バウチャー」を給付します。

令和8年度は導入及び準備期間とし、令和9年度から中学生1人当たり月額3,000円を給付する制度の構築を進めていきます。

○ 奨学金貸付制度における所得要件の撤廃開始について

市では、経済的事情により修学困難な学生の学資支援として、無利子の奨学資金貸付を行っています。あわせて、この奨学金は、返還時に市内に在住しているなど一定の要件を満たす方について、当該年度返還額の2分の1を免除することができる制度としています。

令和8年度は、物価高騰に配慮し、新規に貸し付ける奨学生の選定において世帯の所得要件を撤廃し、より多くの学生に対して支援を行いたいと考えています。このため、新規の貸付人数を拡充した関係予算を、今議会に計上し

ています。

#### ○ マルシェの開催やキッチンカー等への市有地の民間開放について

市職員の福利厚生の一環として始めた市役所本庁舎でのキッチンカーによる昼食販売が好評で、各店舗が継続的に出店していただけていることを踏まえ、「人が集い手取りが増えるまちづくり」をさらに進めるため、休日限定で市有地を開放し、マルシェ等のイベント開催やキッチンカーなどの出店者を募集します。

まずは本庁舎北側駐車場、市立美術館前駐車場、ゆめトピア長船周辺駐車場を民間への開放を開始することとし、マニュアル等の準備ができ次第公募を始めます。今後、他の市有施設等も賑わいづくりの一環として活用していただけるよう検討を進めていきます。

#### ○ 企業誘致の推進について

現在、市営による造成中の産業団地はありませんが、民間同士のマッチングによる本市への企業進出も見られ、企業誘致関係の様々な補助金を活用していただいているところです。

新年度からは組織を立ち上げ、新たな市営の産業団地の計画なども検討するとともに、空地バンク制度を設けるなど、すぐに効果が出るような民民マッ

チングの手助けをしていきたいと考えています。

○ 道の駅黒井山グリーンパークへの軽食機能の追加について

道の駅黒井山グリーンパークでは、これまでも牡蠣小屋や苺ハウスの整備など賑わいの創出に取り組んでおり、来館客数は、前年比約120%に伸びているところです。

来年度は更なる賑わいの創出のため、来客ニーズが高く、また旬に左右されることなく季節を問わず集客が期待できるカフェやパンなどの軽食の機能を、ゆうゆう交流館に追加することを検討しています。

○ 犬島までの航路検証の開始について

牛窓地域の新たな観光コンテンツとして、瀬戸内市観光協会が、渡船事業者および公益財団法人福武財団と連携し、犬島のアート鑑賞とクルージングを組み合わせた観光商品の検討を進めています。

本年秋には実証実験を実施し、需要の把握および利用者ニーズの掘り起こしを行うとともに、将来的な定期観光商品の実現につながるよう、市としても支援していきます。

## ○ 国宝「太刀 無銘一文字(山鳥毛)」の公開について

国宝「太刀 無銘一文字(山鳥毛)」を、3月20日(金曜日)から3月29日(日曜日)までの10日間、及び4月25日(土曜日)から5月6日(水曜日)までの10日間の合わせて20日間、公開します。

観覧につきましては、これまで入館者を制限するため事前予約制としていましたが、予約が取れず観覧いただけない方が多かったことから、今回は予約不要でご入館いただけることとしました。春休み及びゴールデンウィーク期間中の公開となり混雑が予想されますが、より多くの皆さまにご観覧いただける機会となります。なお、3月の公開期間中には、少しでも落ち着いてご観覧いただけるよう、事前予約制による夜間公開も予定しています。

また、博物館駐車場内での市内事業者によるキッチンカー等の出店や、無料シャトルバスの運行も予定するなど、地域団体との連携により、来館者の周遊や販売促進にも取り組んでいきます。

## ○ 岡山市との連携事業について

岡山市との連携事業として、宇喜多家をテーマにした歴史文化資源の活用事業を実施しました。この事業は、宇喜多家のNHK大河ドラマ誘致も目的としており、2月7日と8日には、歴史好き芸人ユニット「ロクモンジャー」と共に、シンポジウム「宇喜多家と岡山城を語る」や、宇喜多家ゆかりの地を巡るツ

アーを開催しました。県内外から約430人が参加し、宇喜多家と両市の歴史文化の魅力を存分に体感する機会となりました。

#### ○ JR 駅前等整備事業の進捗状況について

平成 28 年度から着手していた市内3駅の駅前等整備につきましては、長船駅の駐車場不足への対応として実施中の駐車場拡張工事が3月末完成予定です。また、邑久駅についても、駅前広場の歩道及びシェルターなど各施設が完成し、残る、市道の舗装工事が3月末完成予定となっています。

#### ○ AI やロボット技術の導入によるコスト削減について

人件費や原材料価格の高騰、地域の高齢化が進む中、より経済的で効率的かつ安定的な行政サービスを行うため、AI やロボット技術の導入を進めていきます。

まずは、令和8年度からAIを活用した水道管の劣化診断を導入します。

AIが過去の漏水履歴、管種・口径・布設年度などの管路情報や地質などの環境要素を基に解析を行うため、漏水リスクが高い箇所を優先的に調査、修繕することができるようになります。

また、解析結果により漏水調査の範囲を絞ることができるため、より効率的な維持管理を行うことができ、コスト削減につながります。

また、今年度、建設課ではラジコン式ロボット草刈り機を導入しており、来年度から自治会への貸し出しを開始できるよう、使用方法の動画制作や申請手続きの準備を進めています。これにより、高齢化が進む地域での出会い作業などの人手不足にも対応できることを期待しています。

#### ○ 市職員の副業・兼業解禁について

個人の自己実現や自律的なキャリア形成、市役所の採用力の強化、さらには市民サービスの向上につなげることを目的として、新年度から市職員の副業・兼業を解禁します。

これまで、地方公務員の副業・兼業は原則禁止とされており、家業の農業の継承や地域貢献活動に限定し許可してきたところですが、今後は、事前申請した上で一定の基準に合致すれば原則解禁とし、営利企業での勤務や特技等をいかした自営活動も許可する予定です。

#### ○ 市役所の組織力、採用力の強化に向けた取組の開始について

今後、まちづくりの新しいチャレンジを推進する中で、市政の推進につながる職員の確保と一人ひとりの成長が急務となっています。

まずは、職員採用において、年々減少傾向にある応募者数を増やすため、求人サイトへの掲載を開始し、市役所の仕事の魅力発信、1day インターンシ

ップの開催など PR を強化していきます。

また、職員一人ひとりが主体的に市政推進に取り組めるよう、職員提案制度を導入します。効果が見込める取組については、他部署とも連携しながら推進していきます。

さらに来年度から人事評価制度の見直しを行います。市政方針の推進につながる業務を行う職員が正当に評価される人事制度を作っていきたいと考えています。

#### ○ 令和7年度人権啓発資料法務大臣表彰最優秀賞受賞について

昨年2月、ダイバーシティ推進室が制作したハンセン病問題啓発動画、「記憶を受けつぐ旅～岡山県瀬戸内市・長島に残るハンセン病の歴史～」が、12月5日、法務大臣による人権啓発資料表彰において「最優秀賞」を受賞いたしました。この受賞は全国から集まった825点の作品の中から選ばれたものであり、大変名誉なことと考えており、今後もこの動画を幅広く学習教材として活用し、一人でも多くの方にハンセン病問題の歴史やその意義について関心を持っていただけるよう努めていきます。

#### ○ せとうちダイバーシティ宣言制度について

市では2月から「せとうちダイバーシティ宣言制度」を開始しています。この

制度は、「瀬戸内市ダイバーシティ社会を推進する条例」に定める7つの基本理念に基づき、企業、事業所及び団体の皆さまに、ダイバーシティ社会の実現に向けた具体的な取組を宣言していただく制度です。

本制度の導入により、市全体でダイバーシティの考え方を広く共有していきます。

#### ○ 大規模林野火災に係る火災予防条例の一部改正について

令和7年2月に発生した岩手県の大規模林野火災を受け、国において制度の検討が進められ、その結果、1月から5月までの林野火災が多発しやすい時期に、「林野火災注意報」や「林野火災警報」を発令し、「屋外における裸火で、火の粉が飛散する行為」を制限する運用が決定されました。本市においても、これに基づき火災予防条例を一部改正し、対応することとしています。

#### ○ 高機能消防指令センター総合整備工事の完了について

令和6年度から消防本部内に整備しておりました高機能消防指令センターの整備工事は、令和7年12月25日に完成し、運用を開始しています。

それにより、緊急車両の現場への誘導性能及び情報伝達機能が向上し、出動隊がより早く確実に現場到着できるようになりました。更には、外部システムとの連携により、災害地点の地図等を消防団員等に通知できるうえ、耳の

不自由な方への情報提供もできるようになりました。

今後、この高機能消防指令センターを有効に活用し、皆さま方の安全で安心な暮らしを守っていきます。

さて、今議会で提案申し上げます案件は、条例13件、補正予算10件、当初予算10件、その他12件、計45件です。

よろしくご審議をいただき、適切なご決定をいただきますようお願い申し上げます。報告を終わらせていただきます。

令和8年2月17日

瀬戸内市長 黒石 健太郎